



は 元気が跳ねる 獅子跳ねる

鶴岡・東栄小のじまん

鶴岡市東栄小(遠田良弘校長、66人)の児童たちは、江戸時代から地域に伝わる2種類の獅子踊りを受け継いでいます。

地元の皆さんが先生になって指導し、地域のまつりなどで披露しています。ともに5年生で、添川の踊りの渋谷侑樹君(11)は「教えてもらったことをしっかり守り、地域の皆さんに喜んでもらえるような踊りを見せたい」、東堀越踊りの叶野瑞季さん(11)は「もっと上手に踊れるよう、仲間と練習を頑張りたい」と意気込みを話してくれました。

同学校区では添川と東堀越の両地区に獅子踊りが伝えられていますが、大切な伝統芸能を継承し、古里に誇りを持ってもらおうと、1993年度から獅子踊りを教

育に取り入れています。毎年12月には引き継ぎ式が行われ、6年生から4、5年生に、踊りで使う獅子頭が手渡されます。

2地域の踊り受け継ぐ



6年生が4、5年生に獅子頭を引き継いだ

今週の見どころ

- 2 こども新聞サミット①
- 3 こども新聞サミット②
- 4 5 放課後ニュース
- 6 みんなのギモン
- 7 Let'sえいGO!
- 8 山形のむかし話と方言

〒990-8550 山形市旅籠町2-5-12
 電話 023(622)5271(総合案内)
 ©山形新聞社2018